

平成31年 第2回宇都宮市教育委員会会議録

- 1 日時 平成31年2月19日(火) 開始時刻 午後2時30分～
- 2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 出席者 水越教育長, 大場委員, 伊藤委員, 清島委員, 伊藤委員
- 4 説明員 菊池教育次長, 栗原学校教育担当次長, 秋山教育企画課長,
富山総務担当主幹, 猪瀬学校管理課長, 鈴木学校教育課長,
荒木学校健康課長, 増渕生涯学習課長, 松本文化課長,
掛布スポーツ振興課長, 荒井国体推進課長, 田中教育センター所長
- 5 書記 田上課長補佐, 本田係長, 渡邊総括
- 6 傍聴者 1名
- 7 議題
 - (1) 審議事項
 - 議案第2号 教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について
 - 議案第3号 第3次宇都宮市外国人児童生徒教育推進計画について
 - (2) 報告事項
 - 報告第6号 教育行政相談の内容と対応について
 - 報告第7号 平成30年度教育委員会主要事業の推進管理について
 - 報告第8号 平成30年度宮っ子表彰及び義務教育皆勤賞表彰について
 - 報告第9号 平成30年度「宮っ子心の教育表彰」教育委員会賞について
 - 報告第10号 「うつのみや学校マネジメントシステム」全体アンケートの平成30年度結果概要について
 - 報告第11号 平成30年度本市児童生徒の体力について
 - 報告第12号 子どもの家・留守家庭児童会事業のあり方の見直しについて
 - 報告第13号 訪問型家庭教育支援について
 - (3) その他
 - ① 隣接校との通学区域弾力化等による平成31年度入学者の募集結果について
 - ② 教育委員会だより第19号について
 - ③ 宇都宮市立図書館における「リサイクル市」の実施結果について
 - ④ 南図書館 演劇公演の開催について
 - ⑤ 南図書館 朗読劇の開催について
 - ⑥ 「日本遺産認定記念講演会」の開催について
 - ⑦ 第60回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会の結果について

8 議事の内容

教育長	ただいまから、平成31年第2回宇都宮市教育委員会を開会する。 本日の会議録署名委員は伊藤（一）委員、清島委員とする。 平成31年第1回教育委員会の会議録についてご意見などあるか。 （特になし、全員了承） それでは、大場委員、伊藤（一）委員にそれぞれ署名をお願いします。 （会議録に署名）
教育長	議案第2号、報告第6号は「意思形成過程のもの」及び「個人情報が含まれているもの」であるため、非公開としてよろしいか。 （全員賛成） 全員賛成なので、これについては非公開とする。
教育長	それでは、審議事項に入る。 議案第3号 第3次宇都宮市外国人児童生徒教育推進計画について説明願う。
学校教育課長	【説明要旨】 ○ 平成26年3月に策定した「第2次宇都宮市外国人児童生徒教育推進計画」に基づき、外国人児童生徒教育に関わる様々な施策を推進してきたが、学習指導要領の改訂に伴い、外国人児童生徒教育の一層の充実が求められているとともに、「出入国管理法」の改正に伴い、今後、外国人住民の増加が見込まれるなど、グローバル社会の急速な進展による様々な変化に対応するため、現行計画を改定し、新たに第3次計画を策定するもの。
教育長	説明は以上だが、質疑などはあるか。
伊藤（一）委員	D L A（対話型アセスメント）の導入での本市独自の再構成について説明願いたい。
学校教育課長	ベースは文部科学省作成のものであり、独自に言葉の表現を分かりやすくした。
伊藤（三）委員	小学校中学校ガイドブックとはどんなものか。
学校教育課長	本市の教育行政の政策内容や、学校生活についての冊子である。
伊藤（三）委員	外国籍の子どもたちはコミュニケーションの中で生活に慣れていく。学校に行きやすくなるようなパンフレットはあるか。
学校教育課長	パンフレットではないが、今回の第3次宇都宮市外国人児童生徒教育推進計画の基本方針の二つ目に「異なる文化をもつ児童生徒やその保護者が、お互いの文化を受け入れていくことができるよう理解促進に努める」とあり、周知啓発、講座、国際理解の推進など、いろいろな政策を考えている。
伊藤（三）委員	講座は行きづらい。簡単なあいさつなどを学ぶことでクラスに慣れていけるのではないか。
学校教育課長	それは受け入れた担任が教えている。
清島委員	実数で外国人の子どもたちの割合はどうなっているのか。
学校教育課長	本市における日本語指導が必要な児童生徒の数は今年度113名である。外国籍の子ども数はその倍の220～230名である。
清島委員	それに対しての教員の数は追いついているのか。

学校教育課長	市内の小中学校に拠点校を置いており、そこに在中している。(市内に8名)それに加え、国際交流プラザから派遣されている日本語指導教師が週1～2回、その子どものためにマンツーマンで指導にあたっている。
伊藤(一)委員	外国人児童生徒に個別の指導計画を作成するということだが、1人の教員に過重な負担がかかるのではないか。
学校教育課長	拠点校であっても対象の児童生徒の数は10名程度であり、その子どもに見合った計画を立てることができる。また、拠点校でない学校は学級担任や日本語指導講師が指導計画を立てている。
大場委員	もっと少ない言語のニーズには指導者はどのような対応をしているのか。
学校教育課長	国際交流プラザの全面的なバックアップがある。今必要なすべての言語ニーズに対応できている。
伊藤(一)委員	ICTを活用した通訳翻訳支援についてだが、具体的にどのようなものを使うのか。
学校教育課長	国が作った無料のアプリを使用して、タブレットを活用する。固定型のパソコンについても随時対応していく。
教育長	それでは、議案第3号を決定してよろしいか。 (全員了承) 議案第3号を決定する。
教育長	次に報告事項に入る。 報告第7号 平成30年度教育委員会主要事業の進行管理について説明願う。
教育企画課長	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【説明要旨(前半)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務局の事務執行に係るチェック機能の強化を図るためのものである。 ○ 主な内容については下記のとおり ○ 教育企画課 <ul style="list-style-type: none"> ● 人づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「(仮称)大人版50の言葉」の策定 ・ 人づくりフォーラムの効果的な開催 ● 育英事業の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ 国・県等の動向や利用者ニーズ等を踏まえた奨学金制度の見直し ○ 学校管理課 <ul style="list-style-type: none"> ● 新設小学校整備の推進(教育企画課共管) <ul style="list-style-type: none"> ・ 最適な整備内容の検討 ・ 着実な工事の実施や国庫補助の活用 ・ 地域との円滑な調整 ・ 清原中央小学校の環境確保 ● 学校施設の老朽化対策の計画的推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 御幸小体育館施設改築工事の実施 ・ 長寿命化の視点による整備内容等の整理 ・ 学校施設の長寿命化計画の策定に向けた対応 </div>

- 小中学校のトイレ洋式化の計画的推進
 - ・ 校舎・体育館トイレ改修工事の円滑な実施
 - ・ 校舎トイレ洋式化の対象校等の整理
- 学校教育課
 - 小中一貫教育・地域学校園の推進
 - ・ 各学校や地域学校園の主体的な取組の推進
 - ・ 指導主事の学校訪問や研修会等の実施
 - 学力の向上
 - ・ 授業力向上プロジェクトチームによる分かる授業の基盤となる指導の工夫・改善
 - ・ ICTの有効活用や習熟度別学習による学習指導の充実
 - ・ イングリッシュキャンプ等による英語教育の充実
 - 心の教育の推進
 - ・ 「宮っ子心の教育表彰」などの認め励ます教育の充実
 - ・ やり抜く心や折れない心を育成する体験活動の推進によるたくましさの涵養
 - ・ 中学校の道徳の教科書採択事務の円滑な推進
 - 学校における働き方改革の推進
 - ・ 業務量の縮減や業務の効率化などによる業務改善の取組の推進と、出退勤時刻の把握による労務管理の徹底、勤務時間を意識した働き方の推進
 - ・ 「学校における働き方改革推進会議」（推進会議）や「校長会等によるワーキングチーム」（WT）における具体的な取組の検討
 - ・ 各学校における校長のリーダーシップによる主体的な取組の促進
 - いじめ防止対策など児童生徒指導の強化
 - ・ いじめ防止基本方針に基づくいじめ対策の充実
 - ・ 「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」に基づく携帯電話等の所持・使用に関する問題への取組の充実
 - ・ 児童生徒指導強化連絡会の効果的・横断的な運営による学校の組織力と対応力の向上
 - ・ スクールソーシャルワーカーの積極的な活用による関係機関等との横断的な連携強化
- 学校健康課
 - 食育の推進
 - ・ 学校の教育活動全体を通じた食育の推進
 - ・ 家庭との連携強化による食生活改善
 - ・ 食文化への理解促進
 - 体力向上の推進
 - ・ 各校における体力向上へ向けた取組の質の向上
 - ・ 基礎的な技能、体力の向上を目指したミニマム達成のための運動プログラムの効果的な活用促進
 - ・ 運動習慣の定着を図る「うつのみや元気っ子チャレンジ」の実施

- ・ プロスポーツや企業等と連携を図った体力向上サポーター派遣事業の充実
- 適切な部活動運営
 - ・ 部活動地域指導者活用事業の実施
 - ・ 部活動指導員派遣事業の実施
 - ・ 本市の部活動活動方針の策定

教育長
大場委員
教育企画課長

前半の説明は以上だが、質疑などはあるか。
育英事業の見直しの件だが、今まで大学院生は対象になっていなかったのか。
ご意見のとおりである。これまで大学院生については奨学金・入学一時金ともに対象ではなかった。

伊藤(三)委員

英語教育の充実について、授業時間外におけるALTを活用した児童生徒の英語力強化についてだが、具体的にどんな時間帯に行っているのか。

学校教育課長

放課後こども教室や、昼休みの時間(30分)にALTが希望する子どもたちと交流をモデル校2校で行っている。順次、小学校全校に広めていきたい。

清島委員

学校施設の長寿命化計画の策定に向けた対応のうち、コンクリートコア抜き調査についてだが、老朽化対策は全校が対象か。

学校管理課長

全校が対象ではない。20年経過した老朽化の著しい41校(昨年度が20校、今年度が21校)が対象である。その調査結果をうけて来年度、長寿命化計画の策定を進めていく。

教育企画課長

- 【説明要旨(後半)】**
- 生涯学習課
 - 市民の主体的な学習活動の促進・支援
 - ・ 第3次宇都宮市地域教育推進計画の推進による多様な学習機会の提供
 - ・ 「人材かがやきセンター」及び「生涯学習センター」を拠点とする人事育成事業の充実
 - ・ 「人材かがやきセンター」及び「生涯学習センター」における学んだ成果を活動につなげる学習の推進
 - 家庭教育支援の推進
 - ・ 地域においてきめ細やかな家庭教育支援を行う人材の育成
 - ・ 地域ぐるみの家庭教育支援の仕組みづくりの構築
 - 宮っ子ステーション事業の充実
 - ・ 「放課後子ども教室」実施校区の拡大
 - ・ 「子ども・子育て支援新制度」の円滑な実施
 - ・ 宮っ子ステーションの運営支援の強化
 - ・ 子どもの家等事業のあり方検討
 - 市民の読書活動の推進と読書環境の整備
 - ・ さまざまな市民への読書活動の啓発・推進
 - ・ 課題解決支援サービスの充実強化
 - ・ 読書環境の整備

- 文化課
 - 歴史文化基本構想の推進
 - ・ 本市の歴史を紐解く「エイト・ストーリー」の普及啓発の推進
 - ・ 「(仮称) 市民遺産制度」の創設検討
 - ・ 都市の魅力を高める「情報発信・交流機能」の検討
 - 日本遺産を通じた大谷石文化の保存・活用の推進
 - ・ 日本遺産魅力発信事業の推進（情報発信，普及啓発，人材育成等）
 - ・ 旧大谷公会堂の保存・活用の推進
 - 市民芸術祭・ジュニア芸術祭の開催
 - ・ 市民芸術祭40周年記念事業（2019年度）及び今後の芸術祭のあり方の検討
 - ・ ジュニア芸術祭20周年記念事業（2018年度）の開催
 - 宇都宮伝統文化継承事業の推進
 - ・ 宇都宮伝統文化連絡協議会と連携した事業の実施
 - ・ 伝統文化継承に係る補助制度の活用を通じた団体への支援
 - 百人一首事業の推進
 - ・ うつのみや百人一首市民大会の開催
 - ・ 蓮生記念全国競技かるたうつのみや大会の開催
 - ・ 普及啓発事業の実施
- スポーツ振興課
 - 「ひとり1スポーツ」の推進
 - ・ 地域スポーツクラブ事業の推進
 - ・ スポーツの意義などの普及・啓発
 - スポーツ施設の整備
 - ・ 北西部地域への体育施設整備
 - ・ 宮原運動公園の再整備
- 国体推進課
 - 第77回国民体育大会開催に向けた準備
 - ・ 第77回国民体育大会宇都宮市準備委員会の運営
 - ・ 関係団体等と連携した大会運営の準備
 - ・ 執務室移転
 - ・ 組織定員
- 教育センター
 - 特別支援教育の推進
 - ・ 特別な支援が必要な児童生徒に対する教職員の指導力向上
 - ・ 相談業務の効率・効果的な実施
 - ・ 特別支援教育や相談窓口の周知等による保護者への理解啓発の促進
 - 不登校対策の強化
 - ・ 不登校対策チームによる不登校数増加要因の調査分析，分析結果を踏まえた学校への支援

- ・ 教育相談や、適応支援教室等による支援の充実
- ・ 教職員の不登校対応力の向上

教育長
大場委員

説明は以上だが、質疑などはあるか。
文化課の歴史文化基本構想の推進に、今後の取組で「映像資料の作成」とあるが、近々取りかかるのか。

文化課長

エイト・ストーリーについては今年度、総合パンフレットを国の補助を受けて作成しており、間もなく出来上がる。今後の取組の「映像資料の作成」については、来年度事業の中で紹介するものを文字だけでなく、映像でわかるものを検討している。完成は一年後くらいになると思う。

大場委員
文化課長

対象はどのくらいを考えているのか。
計画ではエイト・ストーリーをすべて映像化したいと考えている。来訪者が宇都宮の歴史を視覚的に体験できるスポットをイメージして作っていききたい。また、子どもを対象としたものは、BS・TBSで流れた15分の番組を子ども向けに再編成している。

伊藤(三)委員
教育センター長

不登校対策チームとはどんなメンバーか。
教育センター相談グループの不登校担当指導主事、学校教育課いきいきグループの指導主事、いきいき専門員の先生方である。

教育長

それでは、報告第7号を承認してよろしいか。
(全員了承)

教育長

報告第7号を承認する。

教育長

つづいて、報告第8号 平成30年度宮っ子表彰及び義務教育皆勤賞表彰について説明願う。

教育企画課長

【説明要旨】

○ 義務教育期間における皆勤について、本人の努力を称え、本人及び周囲の児童生徒の励みとなるよう、市内の中学校に在籍する全ての生徒を対象とした義務教育9年間皆勤については市長が表彰(宮っ子表彰)を行うとともに、市立小中学校に在籍する児童生徒を対象とした小学校6年間、中学校3年間における皆勤については教育委員会が表彰を行う。

教育長

説明は以上だが、質疑などはあるか。
(特になし)

教育長

それでは、報告第8号を承認してよろしいか。
(全員了承)

教育長

報告第8号を承認する。

教育長

次に、報告第9号 平成30年度「宮っ子心の教育表彰」教育委員会賞について説明願う。

学校教育課長

【説明要旨】

○ 教育委員会と宇都宮市立小・中学校が一体となって児童生徒の豊かな心や社会性を育成する「心の教育プロジェクト」の取組として、学校や地域において他の

模範となる行動を実践している児童生徒に対して、教育委員会が表彰を行うことにより、児童生徒の実践意欲を一層高め、心の教育を推進する。

教育長

説明は以上だが、質疑などはあるか。
(特になし)

教育長

それでは、報告第9号を承認してよろしいか。
(全員了承)

教育長

報告第9号を承認する。

教育長

つづいて、報告第10号 「うつのみや学校マネジメントシステム」全体アンケートの平成30年度結果概要について説明願う。

学校教育課長

【説明要旨】

○ 各学校が学校経営計画に基づき、実践した教育の成果を評価し、学校経営を改善するため、平成20年度から全校で実施している、宇都宮学校マネジメントシステム授業において、学校評価の基礎資料となる全体アンケートの平成30年度の結果概要を報告するもの。

教育長

説明は以上だが、質疑などはあるか。

伊藤(一)委員

現場の先生は、この結果概要を見ることができるのか。

学校教育課長

市全体のアンケート結果については既に学校に送付して、校長会議でも説明済みである。学校ごとに集計結果があり、各学校との経年比較などの分析をしている。校内の教職員だけではなく、地域の魅力ある学校づくり地域協議会の委員、保護者、PTAらと意見交換しながら、それぞれ学校の課題として捉え、次年度の学校経営に生かしていくシステムになっている。

伊藤(一)委員

時間をとって協議をする場があるのか。それは比較的近時に行われるのか。

学校教育課長

集計結果は1月中旬には各学校に戻っており、分析が始まっている。2月中旬に魅力ある学校づくり地域協議会の会議があり、この結果について意見をもらい、課題の洗い出しを行っている。

清島委員

質問の「多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている」という項目が他と比べて低い数字になっているがどうか。

学校教育課長

今年度からこの質問項目を盛り込んだ。これからの学校の課題として教職員に意識してもらいたいと考えている。31年度のマネジメントシステムの質問項目については、推進計画からスタンダードということで、このマネジメントも同じような項目に整理をしている。次年度のマネジメントシステムには今、見直しをかけている。

教育長

それでは、報告第10号を承認してよろしいか。
(全員了承)

教育長

報告第10号を承認する。

教育長

次に報告第11号 平成30年度本市児童生徒の体力について説明願う。

学校健康課長

【説明要旨】

○ 本市で実施している「元気っ子健康体力チェック」と国の「平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における新体力テスト結果を比較したもの。

本市児童生徒の体力の状況を把握・分析し、市の施策や各学校の取組に生かし、児童生徒の体力低下に歯止めをかけ体力向上の推進を図るもの。毎年4月～6月に全小中学校で実施。

教育長

説明は以上だが、質疑などはあるか。

伊藤(一)委員
学校健康課長

全国平均を常に上回っている中核都市は把握しているのか。

県単位では福井県である。例年上位に位置するような都市があれば、事例研究をしていく必要はあると考えている。

教育長

それでは、報告第11号を承認してよろしいか。

(全員了承)

教育長

報告第11号を承認する。

教育長

それでは、報告第12号 子どもの家・留守家庭児童会事業のあり方の見直しについて説明願う。

生涯学習課長

【説明要旨】

○ 子どもの家・留守家庭児童会事業を取り巻く社会環境の変化や顕在化してきている問題に対応するため、今後の子どもの家等で提供するサービスや運営のあり方を見直すこととしたので、その内容について報告するもの。

教育長

説明は以上だが、質疑などはあるか。

(特になし)

教育長

それでは、報告第12号を承認してよろしいか。

(全員了承)

教育長

報告第12号を承認する。

教育長

次に、報告第13号 訪問型家庭教育支援について説明願う。

生涯学習課長

【説明要旨】

○ 地域ぐるみで親子の育ちを支える家庭教育支援体制の充実により、家庭・地域の教育力向上を図るため、第3次宇都宮市地域教育推進計画に基づく「訪問型家庭教育支援事業」の実施に関し、その内容等について報告するもの。

教育長

説明は以上だが、質疑などはあるか。

伊藤(一)委員
生涯学習課長

この事業は虐待対策の方と連携がとれているのか。

地域で虐待のネットワークが組まれている。その所管課である子ども家庭支援室については、専門的な対応を終えた後に、家庭教育支援活動者が、家庭教育のしつけやマナー、子どもとの対応を支援してもらえるとありがたいという話をいただいている。虐待している家庭に入っていくのはハードルが高い。子ども家庭支援室の研修に家庭教育支援活動者も参加して、現状の把握をしているところである。

伊藤(一)委員

園等に通わない4歳児については、虐待の方で認知した家庭を訪問型家庭教育支援でサポートしていくことだが、限られた人的な支援のもとで虐待を効果的に減らすという点ではそれで良いのではないか。

教育長

それでは、報告第13号を承認してよろしいか。

(全員了承)

教育長

報告第13号を承認する。

教育長

次に「その他」の案件になるが、その他の案件については、資料提供のみであるので、後ほどご覧いただきたい。

【公開できる案件の終了】

教育長

これからの議案は非公開の案件であるため、傍聴者等の退席をお願いします。

【傍聴者の退席，非公開審議の開始】

- 議案第2号 教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について
⇒ 承認
- 報告第6号 教育行政相談の内容と対応について
⇒ 承認

【非公開審議の終了】

教育長

その他委員の皆様から何かご意見などあるか。

(特になし)

教育長

最後に、事務局から連絡事項をお願いします。

事務局

連絡事項説明（教育企画課長補佐）

- 今後の会議等の日程について
 - ・ 3月8日（金）午前8時30分～ 臨時会
 - ・ 3月19日（火）午後1時30分～ 定例会
 - ・ 3月25日（月）午後3時～ 総合教育会議

教育長

以上をもって、本日の委員会を閉会とする。

終了時刻 午後 時 分

署名委員

署名委員
